

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 多木化学株式会社 本社工場

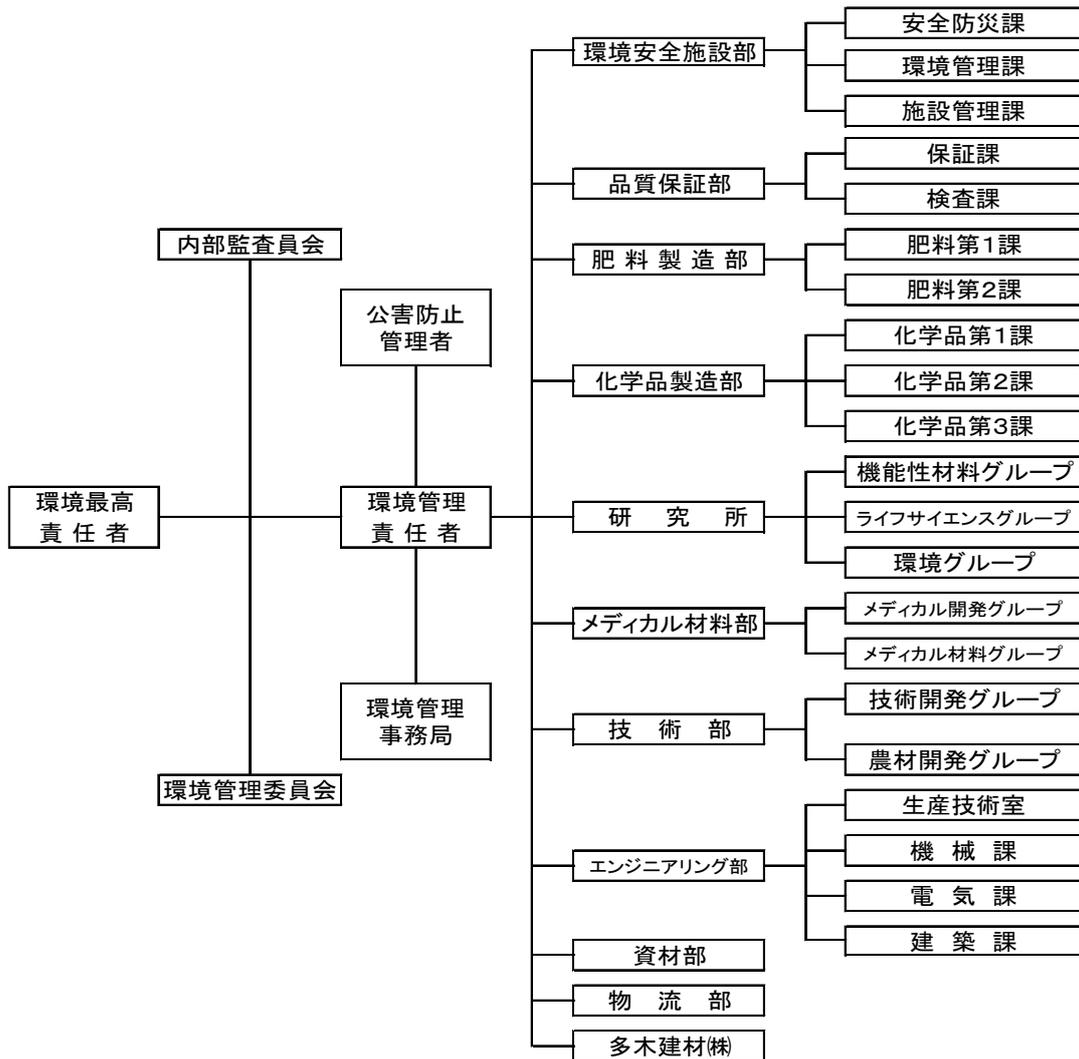
1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

1. 事業活動のあらゆる面で、環境影響の把握と環境負荷の低減を重視し、汚染の予防に努め、環境改善への取り組みを推進します。
2. 気候変動の緩和と持続可能な資源利用のため、省エネルギー・省資源、廃棄物の削減その他の継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連法律・規制・協定、同意するその他要求事項を順守します。
4. 環境目的・目標を定め、実施し、定期的な見直しを行ないます。
5. 廃棄物の処理・再生に努め、循環型社会の形成に貢献します。
6. 地域の環境保全に努め、地域社会との調和に努めます。
7. 全従業員に対し、環境に関する教育及び意識向上啓蒙を行ないます。
8. この環境方針は文書により全従業員に周知させ、社外にも公開します。

公表の方法は、社内へは環境方針の複写物を作成し、全従業員に配布します。
社外より開示を求められた場合は、環境管理事務局が複写物を配布します。
また、弊社ホームページ上にも掲載し、一般に公表しています。

1-2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	平成30年度取組結果	令和元年度取組計画
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年6月に、2015年版移行審査及び継続審査を受け、認証継続となる。 	2015年版での認証継続 <ul style="list-style-type: none"> 環境方針に基づく活動の推進 監視測定の強化 内部監査の充実
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の外部排出量5715tに対して、平成30年度は排水処理後の残渣が増加したため、外部排出量は6200tとなり、485tの増加となった。 	廃棄物外部排出量の抑制 <ul style="list-style-type: none"> 発生量の抑制 分別、回収による再利用の推進
設備保全（投資）	<ul style="list-style-type: none"> 臭気、粉塵の建屋外への飛散を防止するため建屋の屋根および壁について、順次張り替え等をおこなった。 蓄熱式脱臭炉の定期点検をおこなった。 場内配管、タンク類の補修をおこなった。 高圧ガス設備の保安検査をうけた。 薬液タンクの精密点検をおこなった。 廃液濃縮設備の点検、補修をおこなった。 	臭気、粉塵の建屋外への飛散防止 <ul style="list-style-type: none"> 設備補修の実施 各種設備の保守点検実施
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 部門毎に手順教育を実施した。 環境ニュースを発行し、環境意識の啓蒙を図った。 	環境ISOと連携し、環境関連業務の力量について維持・向上を図る
社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年8月に工場周辺地区(水田川周辺)の美化活動を実施した。 工場周辺について月一回の頻度で清掃をおこなった。 	工場周辺美化活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全活動への支援
特定物質排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス(CO2換算量)は、本社工場の合計量で平成29年度の18,702tに対して、平成30年度は18,782tとなる。平成17年比で11%の削減となった。 環境ISO活動で省エネに取組み、機器設備の適切な運転実施等の活動を進めた。 	特定物質の排出量削減 <ul style="list-style-type: none"> 省エネ活動の推進 高効率機器の導入